

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	頭頸部再建後の滲出液貯留に対する治療法の研究		
1. 研究の目的と方法	頭頸部領域は口腔や鼻腔の操作を同時に行うことで、術後に手術操作部に膿瘍などの滲出液の貯留を起こすことが他分野の手術より多く見られます。そのような場合は適切な処置を行わないと重篤な合併症を起こします。しかし皮弁移植を伴った手術の場合は、体表より深い深部に滲出液の貯留を起こすため、ドレナージ（体内に溜まった不要な液体（例えば、膿や血液など）を体外に排出するための医療処置）が難しくなります。近年では画像診断を使用して安全にドレナージをする方法が提唱されつつありますが、頭頸部領域に関してはその有効性が明らかになっていません。本研究では、今まで行なっていた開創ドレナージと1回穿刺法による方法を比較検討して、その有効性や限界を調査することを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年6月30日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	頭頸部領域の疾患で、2019年1月1日～2024年12月31日の間に東京慈恵会医科大学 附属病院にて頭頸部領域に皮弁移植を受けた方（未成年を除く）		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、手術録、術後経過、リハビリ状況など	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座
		氏名	石田勝大
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 石田勝大	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 6 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 研究責任者：教授 石田 勝大（イシダ カツヒロ） 窓口担当者：教授 石田 勝大（イシダ カツヒロ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3481） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。